



中城村

芝がいたよ

中城小六年 比嘉真実子

もっと 知ろう

みんなの議会

心を整え 筆に集中!

第30号

平成23年12月議会





今議会では平成25年度に開校予定の小学校の名称決定や、区画整理に必要な予算の補充など、今年度中にやるべきことの準備を進めました。

議案第45号 可決
平成23年度中城村一般会計補正予算(第3号)
補正額：179,700千円を減額し
総額：6,622,241千円とする

議案第44号 可決
中城村立学校設置条例の一部を改正する条例
南上原で建設中の新しい小学校の名称を『**中城南小学校**』に決定

議案第46号 可決
平成23年度中城村土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
補正額：85,000千円を追加し
総額：588,107千円とする

平成23年 11月臨時議会

平成23年11月28日(月)

議案第43号 可決
中城村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

教えてください ざがいのこと

たびたび意見書を提出するための**採択**や、予算の**可決**という文言を目にしますが、**採択**と**可決**は何が違うのでしょうか？

選択肢が複数ある場合を決めるときは採択と言います。一つのことが決まったときは可決と言います。陳情や意見書はいろんな意見を探り入れてベストな方を**採択**。予算は必要な額面をどうするか考えた上で**可決**。という使い方です。

議員 南上原分校の仮運動場整備の件について伺います。
教育総務課長 十二月七日に工事請負契約を終え、天気の状態を見ながら十日ほどで完了予定です。児童の皆さんには窮屈な思いをさせて心苦しく思っております。
議員 九月十三日に建設事業合同安全祈願祭が行われましたが、整備されたと思っていました。おおよそ二ヶ年、植栽し雰囲気作りもしてほしいと希望します。各部署の連携

中城村立幼、小学校の現状は

仲 座 勇 議員



GA 一般質問 平成二三年 十二月定例議会

をとっていただき、指導を仰いで相談も受けてほしいと強く要望します。
教育総務課長 専門の部署と連携をとりながらやっているが不慣れということもおくれた要因ではないかと思う。
議員 仮運動場の整備のおくれを把握して、どう考え、教育に対して話し合いをされるか。
村長 今の答弁や質問の内容を吟味しながらハード面について強化していきたい。
議員 両分校の本校での学業の教室、送迎等を伺います。
教育総務課主幹 中城小学校では普通教室を準備し、津覇小学校は普通教室、体育館の二階会議室、視聴覚教室で対応、送迎は事前に保護者へ通知し、保護者による送迎またはバスを利用しています。
議員 南上原小学校(仮称)開校後の中城幼稚園、津覇幼稚園の送迎対応は。
教育総務課主幹 通学バスを導入、次年度に試運転試行し、平成二五年度に運行していきたい。

議員 南上原分校前、南上原北線と県道の交差点の信号機設置要請等を伺います。
住民生活課長 両方とも信号機の設置上申を行うと宜野湾警察署から回答があります。
議員 南上原中央線を中心とした道路標識の設置要請と当局ができる安全対策等を伺います。
住民生活課長 安全運転を啓発する立て看板等の設置を行いたい。
議員 南上原中央線の歩道部分の仮舗装等を伺います。
都市建設課長 一三年度、二四年度で完成を図る予定で、当面の間は歩行者の支障を来さないよう維持管理を改善していく。
南上原井水原の土地利用
議員 県立郷土劇場の誘致要請等を伺います。
村長 地権者の部分も大きくかわつてきますし、地元からの声がどういふことなのか、それも踏まえて現在の状態である。
企画課長 土地利用計画の中で一部自然緑地と計画的に市街化地域として検討していきたい。

交通安全

植樹祭と観光



金城 章 議員

議員 復興植樹祭が多く
の村民参加で行われたが、
今後も植樹祭を継続して
いくかどうか。

村長 中城の土砂災害か
らの復興という意味でも、
マスコミのとらえ方も含
めて、村民にとっても大
変素晴らしい植樹祭だっ
たと思います。できる事
でしたら、今後も続けて
いきたいというのが私の
思いであります。
農林水産課長 地滑り復
興植樹祭について、今後

も継続するか、補助メニ
ュー等検討していく。そ
れと村単独で継続してい
くか検討していきたい。

議員 今回の植樹祭はマ
スコミに取り上げられ、
多くの人が見物に来てい
ました。このことが花祭
りとして観光に繋がると
思う。又、歴史の道の沿
道に季節感のある草花を
植え、観光事業として計
画できないか。

企業立地観光課長 歴史
の道は、文化財を散策し
ながら、歴史散策として
楽しめることを目的とし
て整備されていると認識
しています。周辺地域の
自然改変を抑制し、歴史
環境保全を行いながら、
観光客を誘客していきたく
いと考えております。草
花を植える観光事業を取
り組むという計画は検討
しておりません。
議員 花祭りは各地域に
あります。北中城のひま
わり祭りは二週間で七万人、

伊江村のゆり祭りも二週
間で三万人の観光客の集
客があり、経済効果も五
倍以上のことです。歴史
の道周辺の花、植樹祭
等も観光に繋げていく花
祭りのないイベント事業は
どうか。

企業立地観光課長 観光
とイベントという結びつ
きは強いと思いますが、
今は中城城跡の誘客を中
心に業務をしていること
から、今回地域のボラン
ティアで生み出した事業
として、ツワブキ祭りが
今芽出をしています。こ
の事業も来年度に向けて
予算の検討をしています。
地域で生み出した花祭り等々
には支援していく体制が
理想と思っております。
議員 花祭り、城跡のツ
ワブキ祭りにもっと手を
入れて、中城城跡が通称
ツワブキ城と呼ばれれば、
又違う観点からの観光に
繋がると思うので、ぜひ
実行していただきたい。

教育行政



宮城 治 邦 議員

議員 中学校のプール設
置は近々の最優先課題と
して、どのように検討さ
れているか。

教育総務課長 移転場所
の課題はあるが、プール
設置の可能性がある場所
として、技術教室棟の一
角が検討されております。
議員 水泳の実技指導に
関して、学習指導要綱に
一学年及び二学年は全生
徒が履修することになっ
ているが、教育上問題は
ないか。

教育総務主幹 水泳の指

導については適切な水泳
場の確保が困難な場合は
これを扱わないことがで
きます。水難防止事故等
の安全や救助法について
は指導を行っております。

議員 子供たちの教育施
設の環境整備をどう考え
ているか。
教育総務主幹 学習を進
める上で施設設備、備品
等の教育環境の整備は不
可欠です。幼児・児童生
徒が安心安全に確かな学力
豊かな心、逞しい体が培
われるように、そういった
環境を順次整備してい
きたいと思っております。

生活排水路の整備
議員 久場浜原一帯の生
活排水路の不備について、
認識はしているか。
都市建設課長 国道下の
住宅からの排水路が整備
されていない状況であり、
究めて不衛生な箇所が数
カ所あると認識をしてい
ます。
議員 久場浜原一帯の生
活排水路及び周辺の環境
を調査した事はあるか。
都市建設課長 部分的に

は調査を行っていますが、
浜原一帯の調査はないこ
とから、生活排水路及び
周辺環境の調査を行い、
改善を図っていきたくい
思っています。

議員 久場浜原一帯の生
活排水路の不備問題を再
三取り上げてきたが、一
向に改善されない理由は
何か。
都市建設課長 整備に関
しては該当メニュー等を
探すのに苦慮しています。
未整備の部分が大方あり
ますので、周辺地域の協
力のもと、用地等の提供
が頂ければ整備の工事を
進めやすくなると考えて
おります。

議員 居住地における生
活排水路等の環境整備に
ついて、責任と義務はど
こが負うか。
都市建設課長 地域の排
水路及び環境整備は村の
責務と義務に関する部分
が大きいと思われませんが、
個々の家庭から排出され
る生活排水に関しては各々
の責任と義務によるもの
と考えています。



避難訓練の実施

新垣徳正 議員

議員 村内各学校で津波災害に備え、避難訓練が実施されたと思うが、その検証はなされたか。

教育総務主幹 各学校からの問題点として、避難経路の整備、校内連絡体制等の整備が課題。それに関しては緊急通報システムの設置を検討している。

中城幼小、中学校に於いては国道の横断方法に問題。

歩道橋設置

議員 以前より中城小学校バス停付近への歩道橋

の設置が要請されていると思うが進展はあるか。

住民生活課長 沖繩総合事務局南部国道事務所へ確認したところ、予算、維持管理の面で問題があるが、再度の要請があれば検討していく。との回答を得ている。

総務課長 住民生活課のほうでは交通安全の面から要請したという事ですが、防災担当課としても防災という面から要請していきたい。



道路建設事業

議員 久場前浜原道路建設事業の進捗状況は。

都市建設課長 建設実現の為、北側への法線変更も検討し、新たな地権者に対しての確認作業も行ったが、地権者全員からの施工同意には至っていない。事業を強く要望する

る地権者も多いため、地権者の皆様の施工同意へのご協力をお願いしたい。

議員 当初事業計画が行き詰まった場合、村は事業全体の変更も考えているのか。

村長 行き詰まる事が無いように地権者の同意を得ながら、粛々とやっていきたい。ただなにごんにも期限がある事なので、当然行政を預かる者としては最悪の事態が無いように常に想定できる範囲内での対案は持っておかなければならないし、またその時期に來ているとも思っています。しかし先ほど議員が言われたように、久場地域の市街化編入も含めた本事業計画がうまく行けば、中城村の発展に寄与する事は間違いのないことですので、下地区の北側からの発展を、この久場前浜原道路建設に賭けているつもりですので、久場の皆様と機会を持ってお話をし、ご協力をお願いしたいと思います。

職員の規律と指導監督

新垣善功 議員



議員 最近のマスコミ報道を見ていますと、公務員が飲酒運転で検挙、逮捕されている事案がよく見受けられ、特に学校の教頭たる者が検挙、逮捕されたことあります。本村の職員にはどの様に指導しているか伺います。

村長 県下では、飲酒運転撲滅運動を実施しておりますので、職員に対しては事あるごとに指導しています。

総務課長 先程、村長からもありました通り法令

順守の徹底、厳正な服務規程の順守、村長訓辞等、課長会議の際、機会あるごとに文書で順守を促しております。

防災対応

議員 東日本大震災から九ヶ月が過ぎたが、本村における村民に対する防災意識の高揚はどうか。

総務課長 現在の防災計画には、大津波対策についてはほとんど記述がなく、県の計画改定に合わせる見直し、訓練についても改定後実施していきたいと思っております。

議員 自主防災組織の結成状況はどうか。

総務課長 今のところ、結成された所はありますが、一ヶ所だけ結成に向けて準備しています。

議員 海抜表示については、どうなっているのか。

総務課長 県の方が統一デザインを作成すると言うことで、まだしていません。

児童生徒の登下校時の安全対策

議員 他県での事件では

あるが、最近児童生徒、女性を狙った刺傷事件が多発しています。その対策はどうなっているのか。

教育長 警察と連携して、対応しております。詳細については、教育総務課主幹の方から答弁させます。

教育総務課主幹 児童生徒が事件に巻き込まれない様に不審者対応を指導しております。特に「いかのおすし」と言う言葉が徹底されております。

「いか」は行かない、「の」は乗らない、「お」は大声を出す、「す」は直ぐ逃げる。を周知徹底され対応がなされております。

議員 それも良いと思いますが、老人会、婦人会等を活用して、児童生徒の安全を守って行ってもいいと思います。それと防災無線の活用も考えたらどうですか。





村の基金

與那覇 朝 輝 議員

議員 「ふるさと基金」は、現在三一六万円余の残高があるが、五年以上も増減がなくそのままになっている。有効活用できないか。

副村長 平成元年のふるさと創生交付金で設置された基金の利息等残余分であり、できるだけ早くにこの条例を廃止して一般財源化したい。

議員 国民健康保険高額医療費資金貸付基金も二〇〇万円で五年間ずっと変動がないままになって

いるが。

副村長 平成十九年四月に制度改正があり、現物支給化されて、自己負担限度額を超える負担はなくなっている。この基金も条例を改正し、一般財源にまわしたい。

議員 チバリヨウ中城ごさまる応援基金は①世界遺産「中城城跡」の保全活用に関する応援②子供たちの健全育成及び教育環境整備に関する応援③村長におまかせ応援となっているが、例えば安里の被災地の復興花畑関連にも支出可能か。

企画課長 基本的に村長の施策に沿っておれば、できない根拠はない。

各種案件の進捗状況

議員 原建設工業前の信号機設置交渉は。

住民生活課長 宜野湾署に二度の文書要請、電話や口頭でも何回も要請をしているが、なかなか進展が見られない

議員 大瀬線のすべる歩

道対策は。

都市建設課長 現在、歩道のすべる箇所、のり等を除去しているが、今年は特にひどい箇所の改修を行い、残りについては年次的に改善していきたい。

議員 県営公園内のゲートボール場設置交渉はどのようになっているか。

都市建設課長 県も地域及び村からの要請を受け、整備することを決定、来年三月には完成予定です。

議員 シルバー人材センター設立に向けての取組みはどのようになっているか。

企業観光推進課長 規定に基づくセンター設立は厳しい状況にあるが、地域のニーズが高いということで村の特性を活かした小規模なセンターでもできないか検討している。

村長 私自身も積極的に情報収集を行い、設立に向けて取り組んでいきたい。

ごみの不法投棄対策の状況



伊 佐 則 勝 議員

議員 住民生活課の不法投棄ごみの監視パトロール、現場での回収作業を担っている臨時職員の賃金等は、県の補助事業が入っているか。

住民生活課長 臨時職員の賃金は、県の不法投棄散乱ごみ監視等補助事業で行っています。

議員 次年度以降も補助事業の継続は予想されるか。

住民生活課長 この事業については、今年度で終了し次年度継続はありません。

議員 不法投棄対策で、現場に従事する職員は、住民

生活に直接関わっておりません。環境行政の観点から、短期雇用ではなく、現業部門のスペシャリストを育成する意味からも、嘱託、あるいは委託契約による継続性のある雇用形態が望ましいと考えるかどうか。

住民生活課長 今のところ、嘱託あるいは委託契約は考えておりませんが、将来的には継続性のある雇用形態が望ましいと考えます。国・県の補助事業等も模索しながら考えていきたいと思っています。

村長 雇用形態等については、方法論や形態的な部分も含めて検討させて頂きたいと思っています。

議員 住民生活と直接結びつく環境行政の充実、行政サービスを円滑に推進する上で、継続性のある雇用形態は必要不可欠だと考えますので、予算獲得に向けて奮闘を願います。

奥間区有地の登記手続き

議員 浜漁港線沿いの奥間浜原八五六番地の一（公道含む）の奥間

区有地の嘱託分筆登記手続きについて伺う。

都市建設課長 奥間自治会から公道部分の村への無償譲渡の話があり、今定例会で登記費用の補正予算が承認されましたので、今年度で嘱託登記を行いたいと思います。

議員 以前の漁港の浚渫工事で、区有地に排出処理された土砂等の堆積物の撤去作業の時期について伺う。

都市建設課長 新年度に撤出費用を農林水産課で予算計上し、二十四年度中に撤出作業を行う予定です。

議員 新年度には撤去作業に伴う、受け入れヤードの確保の目処が立てられると理解していいか。

都市建設課長 農林水産課とも受入れ先を探しながら、二十四年度中には、撤去したいと思っています。

議員 新年度早々から順調に進行できるよう、しっかりと対応を願います。



吉の浦火力発電所に伴う地域振興策

安里 ヨシ子 議員

議員 平成十七年に出された発電所予定地周辺における振興計画書は、今どのように考えていますか。
企業観光推進課長 土地利用計画について、特に都市的土地利用計画拡大を図る。地域活性化に向けた土地利用の誘導、将来構想を見据えた道路基盤の整備、自然や歴史との共生に向けた環境保全、農地生産基盤の保全、村の活性化を支える産業振興等の趣旨に基づいて推進していく。

久場導流堤から泊にかけての排水路の整備

議員 久場導流堤の建設が計画されていますが、その流末処理がない。入口を工事し、出口はそのままだと、またヘドロが堆積するのは目に見えている。久場側だけ整備すれば海水はスムーズに流れると思いますか。

都市建設課長 排水路の整備については、琉球石油が埋め立てした時、公有水面埋め立ての許可条件として埋め立て地背後の流出口は流水に支障のないよう、しゅんせつは条件つきだったと言っていますので現在の沖縄電力に継承されている。沖縄電力が対策を行うものと考えます。今後沖縄県、中城村、沖縄電力、三者で対策の協議を行う事になっている。

議員 ヤード内に建設予定道路の南側は工業地域に指定されている。企業が来たら当然環境悪化に

つながり、地域住民の要求を最優先すべきである。地域住民の要望にどのように応えますか。

村長 この地域は市街化編入すると、しっかりと説明してきた。泊、久場の住民からは喜びの意見が多く激励も受けた。今度の市街化編入がうまくいけば土地利用の高い、価値の高い土地に変わっていく。道路予定地より北側、そして下地区に市街化区域が広がっていく、土地利用度が高まる。自由度を深めていく、広めていく事が私の努め。

議員 今後、何十年も万が一の不安を抱えて生活していかなければいけない、強いて言えば泊久場の犠牲の上に村全体が潤うことになる。



企業誘致の意義



仲 眞 功 浩 議員

議員 企業誘致の意義は何か。

企業・観光課長 財源の確保や雇用の確保、地域活性化を図るのが目的です。

議員 せっかく企業誘致しても、空洞化や不況で簡単に撤退する。税収が落ち込んだ場合には交付税が交付されるし、逆に企業誘致をして税収が上れば交付税は減り相殺されるので、最近企業誘致も熱心になれないという話もきかれるが、村はどう考えているか。

企業・観光課長 立地した企業が、不況にあお

れ撤退する事例の情報は幾つか得ております。村としては、地域に根ざした企業集積が必要ということで、観光産業及びそれに付随する産業の集積を、中南圏産業活性化計画の中に位置づけていきたいと考えています。

議員 確かに色々動機はあるかもしれない。しかし交付税の算出基準になるのは税収の百分ではなく七五%です。残り二五%は留保財源と言って、それが村の財政力となる。財政力格差とは留保財源の差ということなんです。

そういう意味で、留保財源を生み出す企業誘致は本村にとって大変大事な事です。

企業誘致の実態

議員 本村に適用される制度や優遇措置等を活用した企業誘致の現状はどうなっているのか。

企業・観光課長 IT産業の誘致を行ったが誘致できなかった。また既存企業に対しては産業高度化地域指定ということで、主に製造業に事業の説明

をしている。
議員 今後の誘致計画はどうなっているのか。

企業・観光課長 現状では一市町村で企業誘致を行うことは難しい。従って沖縄中南圏域産業活性化協議会に加入し、同協議会の基本計画に基づく地域市町村と連携し、観光リゾート産業、物流関連産業、情報通信産業、地域資源等活用に関連産業の集積を目指しております。

企業誘致では

議員 議会の中でも横断道路をつくれとか、縦断道路とか、道路をつくる話はよく出てくる。しかし、通学路が不便とか、交通が混雑するから道路が必要と言っても簡単には道路をつくってはくれません。道路は企業の誘致、立地、集積、高度化等の計画と結びつかないと絶対にできない。道路建設を企業誘致と結びつけてやっていただきたい。



高齢者虐待防止

新垣博正 議員

議員 高齢者人口の増加は著しく保険・医療・福祉等の諸問題は社会全体の問題と近年認識され、そのような中で「高齢者虐待防止法」が施行されました。本村においても条例の制定が急がれると考えるが所見を伺う。

福祉課長 本村では福祉課と地域包括支援センターで虐待防止、擁護者の相談、指導などの支援態勢をとっている。

条例制定はされていませんが、法律に明記されている責務を実施するものとする。

児童・女性の人権問題

議員 児童女性の人権に関する条例制定の考えは。

住民生活課長 児童の人権に関する条例として、全国で子どもの権利条例を制定している自治体は九七あります。本村も含め県内ではありません。女性の人権に関する条例制定についても今のところ予定していません。

公害問題

議員 本村との境界沿い西原町の工業地帯、産業廃棄物焼却施設の現状をどのように把握しているか。

住民生活課長 夜間煙が上がり悪臭がするとの通報があり、西原町役場へその旨と伝える。

その後、県環境整備課より改善命令の行政処分が事業者へ出され現在は操業を停止している。

交通安全対策

議員 南上原土地区画整理地内は道路網の整備に伴い交通量が増加していますが、信号機の設置が追いつかず危険な状態である。子どもの登下校の安全を確保する意味からも道路の開通と同時に設置すべきと考えるが。

村長 住民からの要望が非常に多いということと認識している。私自ら宜野湾警察署、公安委員会へ出向いて要請していく。

都市建設課長 開通と同時の設置が望ましい。所管課と当該自治会からも要請している状況である。



日米地位協定

新垣光栄 議員



議員 村長のリーダーシップが日米地位協定の運用改善、與儀功貴君の起訴に大きな影響を与えたことを感謝しております。日米地位協定の運用改善は一時しのぎの対策である。村長の見解は。

村長 これからが大事であり、オール沖縄で取り組んでいく重要な課題である。

議員 共同代表の新垣翔士君は本村出身の青年です。年間、軍人軍属の公務外の事件事故が年間約

一千件発生する内、たった十件程度しか補償が受けられていません。この数字からすると村民も事件、事故に巻き込まれていると思います。基地交付金で被害者の相談窓口、支援センター設置を市町村会に要請して欲しい。

村長 今の提言実現に向けて頑張りたい。

学校支援地域本部事業

議員 本村でも事業を行う考えはないか。

教育長 教育支援促進事業の一環であり、前向きに検討したい。

議員 夢と希望、地域に誇りの持てる教育をするために、地域の人材活用が学習の充実には重要だと思っている。継続事業とのことですので、取り入れて頂きたい。

生涯学習課長 学校側とどのような支援が必要か詰めていきたい。

議員 中学校に取り入れていいのでは。

生涯学習課長 おっしゃるとおり。

議員 コーディネーターの人選が大切だと思うので、だれがいいのか。しっかりと協議して決めて頂きたい。

地震速報システム導入

議員 文科省は気象庁のシステムを全国の学校に導入する方針を固め予算計上したとあるが、通達はきているか。

教育総務課長 まだ通達はきておりません。校内放送で警報を自動的に鳴らすシステムで、導入経費は約三十万、全額国庫負担。導入に関しては国庫補助ですので検討していきたい。

議員 このシステムは緊急地震速報がインターネットの回線を通して、瞬時に避難的警報を出してくれるし、それとトランシーバーを使って防犯にも役立てます。維持費用は、月一、八〇〇円ぐらいだと思いますので導入を提案します。

平成24年2月16日

沖縄県企画部市町村課担当職員による
新年度予算概要説明



山城 貴子 財政班長



宮里 健 行政班長



研修会 & 視察 レポート

予算と行財政運営の課題

これからの地方財源確保に向けて、沖縄振興一括交付金で市町村割り当てソフト事業分として303億円、中城村は約4億円、全国的にも注目されている一括交付金、沖縄県41市町村の企画立案がカギとなり、地方自治体の執行力が試される。

平成24年2月1日



沖縄県病虫害防除技術センターの西村所長

今も続くウリミバエとの戦い

1970年～1980年代に沖縄本島において発生したウリミバエによる農作物の大被害、問題を解決してから30年近く経つが、ウリミバエの再侵入を防ぐため今もなお不妊虫を放ち繁殖を防ぐ作業は継続されている。その継続こそが発達し続ける今日の農業技術の土台の一つではなからうか。



室内で農作物が育成できる新しい可能性

中城デージファーム(字浜在) 近未来型の農作物栽培(植物工場)

温度、湿度、光、CO2などを人工的に調整し、室内で農作物が収穫できる計画的栽培技術の向上をめざす。降雨や日照のバランスを人工的に作れる上に、台風や干ばつといった気象影響に左右されない、安定した生産をする研究に期待がかかる。

ようこそ1万8千年の歴史へ



ウチナーンチュのルーツ!?

次代につなぐ大地の記憶

八重瀬町立具志頭歴史民族資料館にある港川人の全身骨格レプリカを前に学芸員の話聞いた。

議会だより編集委員



伊佐則勝 新垣博正 金城章 新垣徳正 新垣光栄

来る五月十五日には、祖国復帰四〇年の節目を迎える。復帰に向かうころから県民の合言葉は「本土に追いつけ、追い越せ」であった。スピード時代の中、色々な面において沖縄は遅れており、それはコンプレックスの塊のようでもあった。確かに、道路、空港、港湾、河川整備、公共施設等々インフラは劣っていたことは間違いない。それらは、常に、順位付けされベスト、ワーストと競いあつてきた。言葉、文化、教育というソフト面の評価も同じように扱われてきた。その具体的代名詞が、高校野球において甲子園での優勝や大臣の誕生に期待し、突き進んだ。結果それらは一応達成された。最近はこの「合言葉」はいつの間にか耳にしなくなった。四〇年の節目の年に今一度立ち止まって各個人の立場で未来の行く末を見つめてみてはどうだろうか。(新垣 博正)

編集後記

題字募集!

「ぎかいだより」の題字の募集をします
(ぎかいだよりの文字を横書きと縦書き)

中城村の児童・生徒のみなさん、上手いも下手も関係ありません! あなたの字のままでもいいんです
お問い合わせは中城村議会事務局 (☎895-4318) まで